

「気持ちの言語化」の日中対照

井上 優 (麗澤大学)
masinoue@reitaku-u.ac.jp

1. はじめに

- ・個別言語研究では「この表現はどのような意味・機能を有するか」が問題になるが、対照研究では「なぜその言語ではこの表現を使うか(使わないか)」が問題になることがある。

↓

「気持ちの言語化」に関する日本語と中国語の相違はその一例。

2. 副詞による気持ちの表出

- ・中国語では副詞による気持ちの表出が必要なところで、日本語ではその必要がない(強調したりして気持ちを込めて言えばよい)ことが多い。

(1) (現在, 待っているバスが来る様子がない)

- a. おかしいなあ。(まだ)来ないなあ。
- b. 怎么回事, 还不来呀。(还: 変化なし) cf. 不来(未来において予定なし)
(黄 2000)

(2) (独り言で)

明日は5年ぶりの高校のクラス会。/ 明天是五年一次的高中同学会,

ジュンとネネは(変わらずに)元気かな? / 纯和奈奈还好吗?

ゆう子とやよいは結婚したかしら。/ 优子和弥生结婚了吗。

野球部のイチローくんやサッカー部の中田くん来るかな。/ 棒球部的一郎, 足球部的中田会不会来呢?

(『クレヨンしんちゃん』32, p. 104 / 段薇訳《蜡笔小新》32, p. 102)

(3) (寝るべき時間を過ぎているのに寝ようとしない子どもに)

- a. (もう) 10時だよ。早く寝なさい。
- b. 都十点了, 快睡觉吧! (都: 条件が揃っているのに現実が追いついていない)

(4) a. 生活とは(まさに)こういうものなのだ。これ(こそ)が生活なのだ。

- b. 生活就是这样, 这就是生活。(杉村 1994, p. 222: 日本語訳一部改変)

(5) a. 公演は7時半に始まるが, 彼は7時に(もう)劇場に着いた。

- b. 演出七点半开始, 他七点就到剧场了。(就: より早い) (刘月华ほか 1983)

(6) a. 公演は7時半に始まるが, 彼は8時に(やっと)劇場に着いた。

- b. 演出七点半开始, 他八点才到剧场。(才: より遅い) (刘月华ほか 1983)

- (7) (医師に「食生活に注意するように。脂っこいものは控えめに」と言われて)
- はい、(必ず) 気をつけます。
 - 好，我一定注意。(楊 2007, p. 38)

○中国語で言語化しなければならない気持ち

→「コトガラそのものの性質」に関わる気持ち。

- ・待っているバスが「来ない」状態が続いている。(例 1)
- ・以前と変わらずに元気であるか。(例 2)
- ・寝るべき時間を過ぎている。(例 3)
- ・「生活」について説明するのに最適である。(例 4)
- ・想定より早い(遅い)。(例 5, 6)
- ・「必ず」という意志がある(例 7)

- ・日本語は具象性の低い言語表現に個別具体的な意味内容を込められる。
- ・中国語は複数の言語表現を組み合わせることで事物を構成的に描き出す。(井上 2012, 2013)

- (8) a. 机の上に(1冊の)本がある。
b. 桌子上有一本书。[種類+数量=個体]
- (9) a. 冷蔵庫(の中)にビールが(1本)ある。
b. 冰箱里有一瓶啤酒。[内部に空間を持つモノ+中=モノ内部の空間]
- (10) a. この絵は(とても)大きい。
b. 这幅画很大。(很:とても) [大(大きさあり)+很(程度)=大きい]
- (11) a. 私は彼を(しばらく)待った。
b. 我等了他半天。[量的区切り+了(現実)=完了]

3. 感動詞による気持ちの表出

- ・日本語では感動詞による気持ちの表出があったほうが自然な(唐突でない)ところで、中国語ではその必要がないことが多い。

- (12) クロエ: すみません, これ, いくらですか。/ 请问, 这个多少钱?
店員: ああ, トマトね。トマトは, ひとつ 100 円。/ 西红柿啊, 西红柿一百日元一个。
クロエ: じゃあ, ふたつください。それから, あれください。/ 那我要两个。另外, 我还要那个。
店員: え, どれ? / 哪个?
クロエ: あれ。PUMPKIN。/ 那个。PUMPKIN。
店員: ああ, かぼちゃ。トマト 200 円, かぼちゃ 200 円。ぜんぶで 400 円。
/ 噢, 南瓜。西红柿两百, 南瓜两百, 一共四百日元。
クロエ: あのう, PUMPKIN は日本語で何ですか。/ 那个, PUMPKIN 用日语怎么说?
店員: かぼちゃ。/ かぼちゃ。

(NHK テレビ『にほんごでくらそう』2002 年度, p. 12, 17)

(13) (学校を出るとき)

カリン：あ、雨降ってる！

ユキ：え、ほんと？全然聞こえなかった。(外を見る) あ、ほんとだ。すごく降ってるね。

カリン：う～ん。困ったなあ。これじゃ、帰れない。

ユキ：え、傘、ないの？

カリン：うん。昨日から見つからないんだ。

ユキ：学校で取られたのかなあ。

カリン：ううん、そんなことない。家にあると思うんだけど…。

ユキ：そう。じゃあ、私の傘に入らない？

カリン：あ、入れてくれる？

ユキ：うん。

カリン：嬉しい！ (「カリンちゃんと傘」：池上・守屋編著 2009)

(14) 珂铃：呦(you)，下雨啦！

小雪：是吗(shima)? 怎么一点儿声音都没有啊。(外を見る) 哎(ai)，真的下雨啦，还挺大的呢。

珂铃：这下坏了，我没法儿回家了。

小雪：你没带雨伞吗？

珂铃：我昨天就找不着了。

小雪：是不是在学校被谁拿错了？

珂铃：不可能。我想还是忘在家里了。

小雪：那，咱们打一把伞吧。

珂铃：行吗？

小雪：没问题。

珂铃：太好了！ ((13)の中国語訳1：池上・守屋編著2009)

(15) A：どうして外で遊ばないの。／你怎么不到外面去玩儿啊？

B：だって寒いんだもん。／外面冷嘛。

(グループ・ジャマシイ 1998・徐一平ほか訳 2001, p. 263：下線井上)

(16) A：何で、電話してくれなかったの。／你为什么没给我来个电话呀。

B：だから、時間がなかったんだ。／不是说了嘛，没有时间了。

(グループ・ジャマシイ 1998・徐一平ほか訳 2001, p. 247：下線井上)

(17) 田中：ええと、お酒は飲みますか。／你喝酒吗？

クロエ：お酒はちょっと…。／酒，我不…。

(NHK テレビ『にほんごでくらそう』2002年度, p. 60, 65：下線井上)

(18) A：明日野球の試合に出るから見に来てよ。

B：ごめん、明日は行けない。

A：a. え、なんで？

b. 为什么？

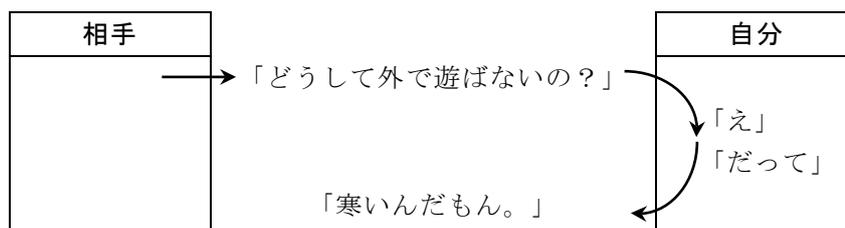
- (19) (相手の話を聞いて)
- a. あ、おもしろいですね。
b. 真有意思啊!
- (20) (様子を見て)
- a. ま、大丈夫でしょう。
b. 应该没问题吧。
- (21) (電話で。相手が受話器をとった)
- a. あ、もしもし。田中先生のお宅ですか？ あ、私あの、麗澤大の井上と申します。
b. 喂，是田中老师家吗？ 我是丽泽大学的井上。
- (22) 李建华：放暑假了。你暑假打算做什么？（夏休みだね。夏休みは何をするの？）
小林恵：我想去上海旅游。（上海に旅行に行きたいです。）
李建华：你怎么去？坐火车去还是坐飞机去？（へえ，どうやって行くの？ 列車？ 飛行機？）
小林恵：坐火车要多长时间？（列車だとどれくらいかかりますか？）
李建华：从北京坐火车到上海要十几个小时。（う～ん，北京から上海まで列車に乗って十数時間だね。）
小林恵：坐飞机只要一个小时。（飛行機なら1時間ですが。）
李建华：你坐坐中国的火车嘛。（まあ（そう言わずに） 中国の列車に乗ってみなよ。）
小林恵：好，那我坐坐火车，体验一下。（わかりました。じゃ列車に乗って体験してみます。）

（張偉雄ほか 1998 『活用中国語』 白帝社， p. 36：日本語訳井上）

○日本語で言語化したほうがよい気持ち

→状況に対する反応として生じ、次に続く発話本体のベースとなる気持ち。

- (23) A：どうして外で遊ばないの？
B：え，だって寒いんだもん。
（→予想外の質問を聞いて「え」と反応し、「だって」で「自分には当然の理由がある」という気持ちを表出してから、「寒いんだもん」と続ける。）
- (24) A：你怎么不到外面去玩儿啊？
B：外面冷嘛。
（→相手の質問を受けて「当然」という気持ちで“外面冷嘛”と言う。）
- (25) 日本語のコミュニケーション：互いに自分の内面にあるものを聞かせる。



(26) 中国語のコミュニケーション：互いに情報を提供しあって文脈を構築していく。



・日本語では、話し手の気持ちを表出するだけでも相手とコミュニケーションしていることになるが、中国語では、話を一步前に進めて文脈の構築に関与しないと相手とコミュニケーションしていることにならない。

- (27) a. 「これ、誰の？」 「う～ん、誰のかなあ。」
 b. “这是谁的？（これ、誰の）” “不知道（知らない）。” （井上 2013）

- (28) A：どうして外で遊ばないの？
 B：え、だって…。（自分には当然の理由がある。）

(29) 日本人同士の会話に付随する相槌には、たしかに「気配り」が認められる。相手の話に対して異論があっても、「そうですか」「まあね」「かもね」「そうね」と当たりはず触らずやんわりと受けてくれる。相手の話を聞いている時、私なら黙っているが、周辺の日本人を見ると、みな「はい」「はい」と相槌を打っている。

私はその「はい」は「賛成」の意を示すものだとして理解していた。ある日、私の新提案を聞いてくれた知人の一人も「はい、はい」を連発した。私はてっきり賛同してくれたものと思い、喜んで「ご意見はごもつともだが」と急転回され、驚いた。「はい、はい」は、聞いているということを示すだけと分かって、ちょっとショックを受けたものだ。（彭 2006, p. 43）

- ・日本語の「はい」「そうだね」「確かに」「わかるわかる」は、「あなたが言いたいことはわかる」という気持ちを相手に聞かせているだけ。文脈の構築には関与しない。
- ・中国語では、相手の発言に対して何か思ったらその都度コメントする。“对”（そうです）も、相手の発言を「それは正しい」と評価する発話であり、文脈の構築に関与する。

(30) その中国人教授への取材は、「中国人と日本人との違い」というような内容だったのですが、中国人は家族（娘の夫など他人でも家族の一員になった人、従兄弟まで含む一族）には、わざわざ「ありがとう」など、感謝の言葉は言わない、という話でした。その理由は「家族なのだからやってあげる、やってもらうのは当たり前。口に出してお礼を言うことは水臭い」からです。（略）

日本では家族に対して、感謝の気持ちを口に出したり、家族と食事したあとも、「ごちそうさま」ということが多いと思います。（少なくとも私の周囲では）。先日、理想の夫婦といわれる三浦友和さんもテレビのインタビューで「夫婦がうまくいくには、感謝の言葉をきちんとということ」とおっしゃっていましたが、（略）

(<http://keinakaji.exblog.jp/16972271/>)

- ・中国人が身内の間で感謝のことばを言わないのは、「ありがとう」と言うと相手が「いえ、どういたしまして」と返さないといけなくなるから。（日本語でもこれは水くさい。）
- ・日本人が身内に「ありがとう」と言うのは、身内の間では「ありがとう」と言われても「いえ、どういたしまして」と返す必要がないから。

○日本語と中国語の「円滑なコミュニケーション」

中国語：会話参加者の情報のやりとりによる文脈の構築が円滑におこなわれること。

日本語：会話参加者の発話の背景にある気持ちの理解が円滑におこなわれること。

- ・接続助詞による言いさし、終助詞「よ／ね」も、単に「あなたにこのことを伝える」というのではない気持ちの発話であることを示すための手段。

(31) (チャイナドレスの店で)

- 我想做件旗袍。 (楊 2007, p. 32)
- チャイナドレスを作りたいんですが。(どうすればいいんでしょう?)
- #チャイナドレスを作りたいです。

(32) a. 先に行くね。(よろしく)

- 我先走了。

(33) a. 財布が落ちましたよ。(この状況に対処してください)

- 你的钱包掉了。

- ・日本語の副詞の前置も「気持ちを先に言う」という形で説明できるかもしれない。

(34) a. とつても今日は気分がいい。

- めったに彼は人の悪口を言わない。/たまに彼も人の悪口を言うことがある。

引用文献

池上嘉彦・守屋三千代(編著)(2009)『自然な日本語を教えるために—認知言語学をふまえて—』ひつじ書房

井上優(2012)「テンスの有無と事態の叙述様式—日本語と中国語の対照—」『日中理論言語学の新展望2 意味と構文』くろしお出版

井上優(2013)『相席で黙ってられるか—日中言語行動比較論—』岩波書店

グループ・ジャマシイ(1998)『日本語文型辞典』くろしお出版(徐一平ほか訳 2001『日本語句型辞典』くろしお出版)

黄麗華(2000)「否定表現の日中対照—「まだVしない」と「还不V」—」『日本と中国 ことばの梯 佐治圭三教授古希記念論文集』くろしお出版

杉村博文(1994)『中国語文法教室』大修館書店

彭飛(ポン・フェイ)(2006)『日本人と中国人とのコミュニケーション—「ちょっと」はちょっと…』和泉書院

楊凱榮(2007)『語感を磨く中国語』NHK 出版

刘月华・潘文娛・故韡(1983)《实用现代汉语语法》北京：外语教学与研究出版社(相原茂監訳 1988『現代中国語文法総覧(上・下)』くろしお出版)(増訂本 2001, 北京：商務印書館)